

2020. 3. 24

畑 啓之

「彼を知り己を知れば百戦殆からず（孫子）」 台湾のコロナとの戦いの彼とは誰？

WHO に属していない国が、今回の新型コロナウイルス（covid-19）との戦いで、今のところ善戦している。台湾は中国との関係が密であり、2003年時のSARS流行における苦い経験を今回の国内流行を抑えるのに活かした、歴史に学んだ国ということになる。そして、問題の彼とは誰か。もちろん中国である。

台湾は中国のことを隅々まで理解している。中国のメディアは本当のことは伝えない？個人の発信する情報は中国当局によって大きく規制を受けるので、中国国内から真実の情報が漏れ出てくることは少ない。それでも、わずかに染み出てきた今回のウイルスに関する正確な情報を昨年12月の段階でしっかりとつかみ取り、危機管理に有効に利用した。その結果が現時点での善戦に繋がっているものと推察できる。

中国政府の発表する情報が、特に武漢の感染状況を伝える情報がいかに欺瞞に満ちたものであったかは、最近次第に明らかになってきた。YouTube上には多くの情報が満ち始めている。

台湾が見えない敵との戦いに、いかに善戦してきたかの事情は次のYouTubeでしっかりと述べられている。

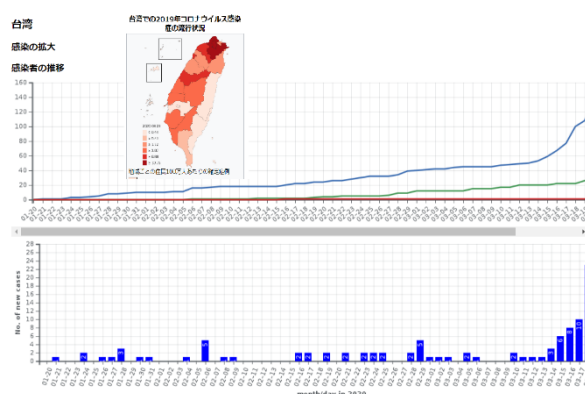
Taiwan's COVID-19 Response Should Be A Model For The World | NowThis 2020/03/21

https://www.youtube.com/watch?v=XjqD_9ScTIA

しかし、この戦いは次の段階へと移っていく。海外から帰国者や来訪者を通してウイルスが持ち込まれるケースが増えてきている。

アジアにおける2019年コロナウイルス感染症の流行状況 (Wikipedia) 右図

【緊急企画！】新型コロナウイルスの影響で外国人の台湾への入国制限が決定！台湾に住む外国人への影響は？緊急インタビューを敢行！（3/18撮影）



<https://www.youtube.com/watch?v=I0RFUPhjpyM>

このYouTubeによると、台湾にいる欧米からの留学生たちは、このまま台湾にいる方が安全であり、母国の家族もそれを望んでいると。

以下に示すのが最近の情報である。世界各国がいわゆる鎖国状態となっている。そうせざるを得ない。近いうちに、日本も更なる渡航制限を設けなければならなくなると考えられる。彼の情報を100%信用することは危険であるが、事態はもはや彼が敵ではない。彼から離れ全世界へと広がってしまっている。中国をも含めた全世界が彼であるという、世界は異常な事態に陥ってしまった。その対応としての国境封鎖は致し方ないとしても、本当の彼は新型コロナウイルスそのものである。世界は協力してこの脅威に立ち向かっていくことになる。

世界から称賛される台湾の新型コロナウイルス対策。日本とどう違う？

HUFFPOST 2020年03月19日

日本のように政策決定で右往左往している印象を与えて世論の批判を浴びることもなく、東アジアで最も効果的にウイルスの感染拡大を抑え込んでいる点が際立っている。

新型コロナウイルスへの対応が世界から称賛されている台湾の民進党・蔡英文政権。その背景には、2003年の「SARS」流行時に危機対応にあたったメンバーや、医療・感染症に詳しい人材が、現在の政権に多数入っていた強力布陣の存在がある。SARSのときは、台湾でも病院で集団院内感染が起こり、84人の死者を出した苦い記憶がある。

陳副総統は、中国との窓口を閉じることでしかウイルスの侵入を押さえ込む方法はないと判断し、最も早い段階の1月下旬に中国人の入国制限を強化し、2月上旬に全面禁止に踏み切った。

台湾、初動成功も試練に直面 コロナ対策、中国封じても海外ルートの感染者急増

JJI.COM 2020年03月23日

世界的な感染拡大が続く新型コロナウイルスで、台湾は中国人の入境を早期に禁止するなど初動が奏功し、爆発的な感染拡大の封じ込めに成功した。しかし、ここに来て海外ルートによる感染者急増という思わぬ試練に直面。戦いは次の局面に入っている。

最近になって海外から戻った旅行者や留学生の感染が相次いで確認され、18日には100人に達した。SARSよりも地球規模に感染が拡大し、3月に入り「中国以外の海外ルート」からの感染リスクが意識されるようになると、台湾社会も動揺し始めた。

中国以外の海外ルートを封じるため、台湾政府は21日から海外渡航を全面的に禁止。海外からの入境も大幅に制限する「鎖国」状態に入った。

今月中旬までに欧米などから台湾に戻った人を対象とした感染者洗い出しも急いでいる。対策はこれからが正念場になりそうだ。